

(公印省略)

令和4年1月7日

大牟田市介護支援専門員連絡協議会

会長 林 洋一郎 様

大牟田市居住支援協議会

会長 中尾 昌弘

「空き家所有者向け無料相談会」の開催周知のお願い（依頼）

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、平素より当協議会の事業運営に際し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協議会では、住宅確保要配慮者（高齢者、障害者、低所得者、子育て世帯など）の支援と空き家の活用等を目的として、空き家相談会の開催や住宅確保要配慮者と空き家所有者のマッチング事業に取り組んでいます。

取り組みの一環として、「空き家の活用や管理」についてお悩みの声にお応えするため、今年度2回目の相談会を下記のとおり実施する事に致しました。そこで、貴団体が関わっておられる利用者さま等で該当される様な方に、ご周知のほどお願い申し上げます。

ご多忙中とは存じますが、ご協力頂ければ幸甚に存じます。

記

- 1 日 時 令和4年2月5日（土） 午前10時～正午
※電話にて事前申込み（先着順にて12組まで）
《お申込み専用ダイヤル：070-1274-7161（平日9時～17時）》
- 2 会 場 大牟田市市民活動等多目的交流施設えるる 2階 中研修室
（住所：大牟田市新栄町6-1）
- 3 問合せ先 【大牟田市居住支援協議会 事務局】
NPO 法人大牟田ライフサポートセンター
加倉、三浦、牧嶋（TEL 0944-88-9616）
大牟田市都市整備部建築住宅課
前原、櫻木（TEL 0944-41-2787）

※この案内は、令和2年度に実施した「住宅ご利用実態に関するアンケート調査」にご協力いただいた方及び平成26年度から実施している「空き家所有者向け無料相談会」にご参加いただいた方を対象に送付しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、電話による事前申し込み制としております。

※新型コロナウイルス感染拡大により福岡県内に緊急事態宣言等が発令され、会場の使用が制限された場合は中止となりますので、あらかじめご了承ください。

空き家と終活考える

講演などで対策学ぶ

大牟田

「住まいと自分の終活セミナー」今からできる実家の空き家対策と終活のおはなし」が4日、大牟田市新栄町の「える」で開かれた。講演やパネルディスカッションがあり。セミナーが主催。

1には約50人が参加して空き家になる前に必要なことや対策を学んだ。

セミナーは大牟田市、市居住支援協議会、NPO法人大牟田ライフサポートセンターが主催。

セミナーでは同市の空き家所有者へのアンケート調査結果報告の後、国土交通省住宅局安心居住推進課長の上森康幹さんが「新たな住宅セーフティネットの推進について」のタイトルで国の制度や現状などを説明。上森さんは全国的に空き家は増加傾向にあり、その中でも戸建てが多いことを指摘。空家等対策の推進に関する特別措置法、支援事業、住宅セーフティネットなども説明した。

また住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居促進を図る居住支援協議会にも触れ「大牟田では早い段階で設立できていて、先進的な取り組みをしている」と評価。最後に「国の方でも空き家を活用するなど住宅確保を推進し、問題意識を持って施策を進めている」と話した。

その後、福岡市社会福祉協議会事業開発課の栗田将行課長が講演し、「住まいの終活」をテーマにパネルディスカッションが行われた。またセミナー終了後には相続や家財整理等の相談会もあった。（小柳 聡）

地元の新聞社である有明新報社さまの朝刊記事に、大牟田市居住支援協議会主催のセミナーについて、記事にいただきました。【令和3年12月17日】



空き家対策と終活を考えたセミナー



【過去の無料相談会の様子】

多職種の相談員が、皆さまのお悩み（実家の売却・賃貸・解体など）に応じます。